



市内に現存する唯一の侍屋敷(澤井家住宅)のある通り

町並みについて

- ◆八代市松江城周辺地区は、八代城(松江城)を中心に城下町が配置され、縦横に走る城下町の地割り(区画)が、ほぼ往時のまま残っており、国指定名勝の松浜軒をはじめ、武家屋敷、町屋などが現存しています。また、寺社仏閣も数多く残り、八代の歴代城主である名和氏、相良氏、加藤氏、細川氏、松井氏の家紋が瓦に記されるなど、城主の変遷の歴史が刻まれた貴重な町並みとなっています
- ◆八代城(松江城)跡を含む、古麓城跡(戦国期)、麦島城跡(安土桃山時代)の3つの八代城跡は、平成26年3月に「八代城跡群」として国史跡に指定されました。



町並みの中心(核)となる伝統的建造物

松浜軒(国名勝)

- ◆1688年に八代城主松井直之が母・崇芳院のために建てた御茶屋で、松浜軒という名称は、かつて八代海を見渡す浜辺に面し、堤に松林が連なる景勝地であったことに由来しています。
- ◆松井家の家宝を今に伝える松井文庫の資料館があり、宮本武蔵ゆかりの「戦気」の軸や手彫りの木刀も展示されています。6月頃には肥後花菖蒲が咲き誇る江戸初期の大名庭園が良好に保存され、訪れる人々の目を楽しませています。



うろこ壁が美しい松浜軒

石灰石が積まれた美しい石垣の残る八代城を中心とする同地区には、数多くの歴史的建造物が残っています。同地区は、周辺の手永の年貢米を大坂の蔵屋敷へ積み出す港としても栄え、廻船問屋の町並みと漆喰塗りの土蔵も点在しており、まさに歴史の宝庫ともいえる城下町です。